

名古屋学院大学特任教授

一般公開

# 松浦晃一郎 先生 講演会

## 「世界無形文化遺産の意義と現状について」

本学特任教授松浦晃一郎先生は、第8代ユネスコ事務局長です。

ユネスコ在任中、松浦先生は特に世界遺産(文化遺産、自然遺産)の登録・保全に積極的に取り組み、また世界無形文化遺産条約の成立に多大なご尽力をなさいました。それらが日本の世界遺産登録にも大きなインパクトを与え、現在、次々と実を結びつつあります。

今回の講演では、世界無形文化遺産の意義と現状について、遺産条約の精神を基に、また日本の取り組みの実体をふまえて、広範なお話をさせていただきます。世界中を震撼させている紛争や難民問題により、破壊され、また消滅の危機にある世界遺産も少なくありません。文化を守ることは世界平和の第一歩です。

松浦先生のお話について、木村学部長による東海地域の山車文化についてのお話と、学生による本学の取り組みや海外の無形文化遺産の紹介も予定しています。是非ご参加ください。

聴講無料

予約不要

2017年  
6月24日(土)

開場/13:30

開演/14:00

名古屋学院大学  
名古屋キャンパス 白鳥学舎  
翼館 クラインホール

### プログラム

- 14:00~14:05 開会挨拶 小林 甲一 学長
- 14:05~14:10 講演者および講演会の趣旨紹介
- 14:10~14:50 講演  
『世界無形文化遺産の意義と現状について』  
松浦 晃一郎 特任教授(第8代ユネスコ事務局長)
- 14:50~15:00 質疑応答
- 15:00~15:10 休憩
- 15:10~15:25 報告  
『東海地域に息づく世界無形文化遺産  
—山車の文化について—』  
木村 光伸 国際文化学部長
- 15:25~15:50 学生による活動報告・海外の無形文化遺産 など
- 15:50~16:00 質疑応答、松浦教授による講評 他